

日本年金機構の設置凍結と 公的年金の充実を求めます

2009年 月 日

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

紹介議員()

【請願趣旨】

老後の命綱である公的年金の充実は国民の切実な願いです。先の総選挙で国民は、公的年金を改悪してきた自民党・公明党政権に対して明確な審判を下しました。

民主党を中心とする新しい政権は、国民の期待と願いに応じて公的年金制度の充実に力を尽くすことが求められます。同時に、国民が納めた保険料にもとづく正しい年金を受け取るためにも、年金記録問題は早期に解決しなければなりません。

しかし、社会保険庁を廃止して来年1月に発足する日本年金機構は、現行の社会保険庁に比べて人員を大幅に縮小し、業務に精通した千人もの社保庁職員を排除しようとしています。これでは、専門的な知識と経験が不可欠な年金記録の処理や公的年金の業務運営に支障が生じるとともに、国の責任も曖昧にされてしまいます。

したがって、国の責任と国民の権利を曖昧にする日本年金機構の設置は凍結し、何よりも年金記録問題の解決を最優先することを求めます。同時に、国民が安心して老後を迎えるためにも全額国庫負担による最低保障年金制度が不可欠です。そして、その財源は、年金生活者など低所得者ほど負担の重い消費税ではなく、大企業や大資産家の応分の負担、軍事費の削減などで賄うことが必要です。

【請願事項】

- 国の責任と国民の権利を曖昧にする日本年金機構の設置は凍結すること。
- 国の責任で年金記録問題の早期解決を図ること。
- 消費税によらない最低保障年金など、安心・信頼できる公的年金制度を確立すること。

氏名	住所

取扱団体()

国の責任で、安心して暮らせる年金制度をつくる連絡会 (略称 安心年金つくろう会)

〒105-0003 東京都港区西新橋1-17-14 リパティ14ビル3F国公労連内
TEL 03-3502-6363 / FAX 03-3502-6362

安心年金  で検索